

目標達成計画

作成日：令和4年6月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・35	グループホームとなってから避難訓練等行えていない。その為、災害時の対応として統一が図れていない。	災害時、各職員が迷うことなく入居者様の安全を確保することが出来るよう訓練を行う。	令和4年7月避難訓練と機材の確認。令和4年11月消防署の方の参加と避難訓練を実践していく。	4月と11月
2	49	コロナ禍の為、外出を控えている。外の散歩などは行えているが、遠距離の外出は行えていない。	入居者様の気晴らしとなれるように車での外出やゆかりの地を巡れるようにする。	入居者様が望む場所の聞き取りを行いながら、思い出巡りを行い、気分転換を図れるよう支援していく。	6ヶ月
3	6	身体拘束に関して学んでいる職員と学べていない職員の差が見られている。	身体拘束に関しての知識を職員同士深めてほしい。	身体拘束委員会を立ち上げ、委員会を軸に研修会を開催していく。	4ヶ月に1回
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。